

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	青年期保健事業				担当部	健康福祉部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	保健センター				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	成人保健係			
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		6 健康づくり		1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します				
		副目的									
	予算区分	款	4	項	1	目	4	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	健康増進法、健康こまきいきいきプラン									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	概ね40歳未満を対象とした市民に対し、若いうちから主体的に体や心の健康づくりに取り組めるようにし、健康の保持増進を図るとともに生活習慣病やその予備軍の予防に繋げる。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壮年期を向かえる前から、健診に対する意識付けを行い、自分の健康管理をしてもらえようように働きかけをした。その内容としては、ヤング健診(事業所等で健診機会の無い35歳を対象に身体計測、血圧測定・健康相談等の内容で実施)年間5回実施した。 ・歯周病予防個別健診(35歳を対象に歯科医院において歯科健診、ブラッシング指導等を実施)を歯科医院で実施した。 <p>なお、事業については業務委託を中心に対応した。 また、35歳になる年齢対象者には、健診の勧奨及び健康情報を提供するために個別通知を行った。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤング健診事業委託料 1,585千円 ・歯周病予防個別健診事業委託料 350千円 ・講師等謝礼、印刷製本費等 1,039千円 <p>○26年度実施内容</p> <p>ヤング健診を年間5回から6回にする。 平成25年度と同じように実施する。</p> <p>◆H26直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤング健診事業委託料 1,800千円 ・歯周病予防個別健診事業委託料 483千円 ・講師等謝礼、印刷製本費等 1,348千円 									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,472	2,832	2,974	3,631	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,052	1,052	1,052	1,052
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	3,524	3,884	4,026	4,683		
対前年比	%			110.2	103.6	116.3		
財源	一般財源	千円	3,486	3,884	4,026	4,683		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	38	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	ヤング健診実施日数	日	目標		6	5	6
実績				6	5	6	
乳がん検診者対象健康教育	回	目標				50	30
		実績				63	
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	ヤング健診受診者数	人	目標	500	450	450	450
実績			366	339	409		
歯周病予防個別健診受診者数	人	目標	250	200	250	150	
		実績	77	185	112		

事業の自己評価	平成25年度の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤング健診は受診をしてもらい易いように、期間集中型(7月)から期間分散型(7月~2月)にしたので、申し込みが多くなった。しかし、2月は雪の影響で受診者が申し込み者より減った。 ・生活習慣病が多くなる壮年期前の年代をターゲットとして健診を実施し、結果を個別に返すことにより健康教育に取り組むことができた。 ・運動指導が必要な対象者に、教室を実施した。 ・歯周病予防個別健診については受診が増えるよう広く周知を行ったが、受診者数は前年度より減少した。 					
	事業実施における課題	健康問題に無関心な年代を対象としているため、健康への関心度を上げる必要がある。例えば、若いうちから自身の健康状態を知り、生活習慣を振り返る、また健康づくりに取り組む動機付けができ受診行動ができるようにすることである。					
	事業を縮小・廃止したときの影響	生活習慣が起因する疾病の予防に向け、若いうちからハイリスク者を見つけるとともに自覚症状が無くても生活習慣の行動変容に繋がるような動機付けを実施する事業は、他に類似する事業がないため、これらの機能を果たせなくなる。					
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	35歳の方に歯周病個別健診とヤング健診を合わせて周知をする通知をしているが、26年度はその案内の中にかん検診のお知らせも含め、健診・検診の大切さをPRし、受けてもらい易いように日程も配慮して計画する。				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	いつまでも健康に過ごすことができるよう若いうちから健康づくりに取り組むことは必要であるため、現在対象で事業を実施していく。					
	27年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活を営むことができるように、若い世代に健康の大切さを伝えていく出前講座(例えばPTA対象)を開催する。 ・健康に関心をもってもらうために実施する「健康ポイント制度」の対象事業とする。 					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。